



Allmanna stool

ノルウェーのフィヨルド奥深くに位置する小さな街、セウダはかつて鉱山業で栄えました。その鉱山跡地の溪谷に、ピーター・ズントー氏が設計したアルマヌユヴァ 亜鉛鉱山博物館が 2016 年にオープンしました。このカフェ棟で使用されているのが Allmanna Stool です。

このスツールは、座面と 3 本の脚という、スツールを形成するために最低限必要な要素で構成され、全てのパーツは無垢材で製作されています。座面は臀部のカーブを優しく受け止めるように丸みを帯びた形状に削り出されており、脚部は細身に円錐形のデザインが特徴です。オリジナルはブラックアルダーの細かい接ぎ合わせで作られた座面でしたが、日本での製造に際しては、木の自然な表情を生かすために最小限の接ぎ合わせで仕上げられた樺と栓の無垢材が用いられました。

Allmanna stool

Designed by Peter Zumthor



PZI-011 スツール

φ327×W353×D366×H456

樺

107,800 (98,000)

栓

107,800 (98,000)

TIME & STYLE

φ (直径)

W (幅)

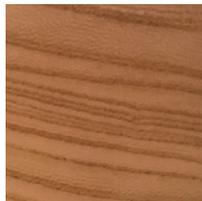
D (奥行)

H (高さ)

寸法単位：mm

価格は日本円

() は税抜き価格



樺
ビーズワックス



栓
ソープ